

Rotary



# 白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2019～2020年度クラブ目標

『共に手をつなごう  
ロータリーのもとで』

会長 中目公英  
幹事 兼子 聡



ロータリーは  
世界をつなぐ

2019-20年度国際ロータリーテーマ



## 第1599回例会

令和元年 9月19日 (12:30～13:30)

### ○ソング

- 我等の生業

### ○スマイルBOX

- 中目公英会長 (10月24日は、「世界ポリオデー」と定められ、ポリオ根絶への諸活動をするように、推奨されています。我がクラブも少しでも寄与できるように認識を向上させましょう。ホームミーティングの発表をありがとうございました。)
- 永野文雄会員 (ホームミーティング発表者の会員さん、ご苦労様です。職業奉仕の為に早退させていただきました。)
- 金田昇会員 (先週のホームミーティングはとても楽しく参加できました。誕生祝いありがとうございました。)
- 池田浩章会員 (青木大会員ホームミーティングでは、大変お世話になりました。2週連続で欠席しましたので、スマイルします。)
- 小林義勝会員 (先日のホームミーティングでは青木班長大変お世話になりました。)

### ■公式メイクアップ者

《2019-20年度 第1回ホームミーティング》

- 1班：9月10日  
車田裕介、中目公英、宮本多可夫、松永紀男、運天直人、島田修一
- 5班：9月13日  
兼子聡、大竹憂子、金田昇、山口治、根本あゆみ、横田俊郎
- 7班：9月9日  
青木大、山田顕一郎、小林義勝、鈴木孝幸、村上堅二、池田浩章

### ▶第1599回例会出席状況 (R元年9月19日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	44名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	58名
Ⓒ ①の出席者数	28名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	3名
Ⓕ ②の出席者数	7名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓕ (メイクアップ補填後の出席会員数)	38名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓕ)	51
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	74.51%

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

中目公英会長



皆さん、こんにちは。大変いい日で何かと用事のある中、今日は出席いただきましてありがとうございます。今日はホームミーティングの第二回目の発表で、1班、5班、7班となっております。書記の皆さん、発表のほうよろしくお願いたします。時間が余ってしまうということで短かった雑誌広報委員長の安部先生のほうから残りの卓話をいただくことになっておりますが、あまりに安部先生が長い時間俺に負担させるなということでございますから、会長の時間で少し喋らせていただきたいと思っております。今日、皆様方のポスティングの中にロータリーとポリオというコピーを入れておきました。どうぞこちらのほうをお出し願いたいと思っております。実は先週の幹事報告で、今度の10月に行われる地区大会でポリオ撲滅に関してあなたのクラブでは何か活動しましたかという質問状が来まして、残念ながら我がクラブは何もしていませんと答えました。ロータリーのメンバーであれば、ポリオ撲滅という言葉は聞いたことあるかもしれませんが、その内容がどういう内容かはなかなか理解が難しいところあります。今年度、次の創立35周年、吉野年度の時の地区大会でロータリー賞を目指そうというふうな意気込みでいるものですから、そのロータリー賞を目指すためにはロータリーのポリオ撲滅活動への募金、または認識向上を目的とした行事を開くこと、これをやりますと一つチェック項目が付くこととなります。本来であれば、街角にメンバーが一緒に出て募金活動をしたりというふうなことをしないとイケないのかもしれませんが、とりあえずその前にメンバーのポリオ撲滅に関しての理解力を高めたいと思っております。こちらの資料を準備させていただきました。私の感情が入らないようにこれを読みますので、皆さんも貰ったから会社に持って帰ってどこかに置いて何も見えないままに終わらないように、とりあえず今日出席の皆さん方にはポリオについての理解を深めていただいて、これを我がクラブのポリオ撲滅に関する運動の一つにしたいということでもあります。じゃあ、読ませていただきます。ポリオ、急性灰白髄炎はウイルス感染によって発症する病気でワクチンでの予防が可能です。感染した場合、ウイルスが神経組織に入って身体麻痺を引き起こし、時には死に至ることもあります。5歳以下の子供に感染する確率が高く、通称小児麻痺とも呼ばれています。ポリオはワクチンで予防が可能です。治療法はありません。ほかの多くの疾病とは異なりポリオは根絶が可能です。天然痘は根絶されました。次に、このポリオを根絶しましょうというわけです。ポリオプラス、30年以上に渡りロータリーとそのパートナー組織は、ポリオを世界から根絶する活動を行っています。ロータリーのポリオプラスプログラムというのは、ポリオのワクチンを届けるということと、ポリオのワクチン

チンを届けるまでの輸送経路であるとか、保管であるとか、子供たちに接種するために人員を用立てるとか、ポリオのワクチンを接種するのに取り巻くいろんなことをすべて含めるという意味です。ポリオプラスプログラムは子供を対象とした大々的な予防接種を通じて、ポリオの根絶を目指す世界で初めての取り組みでした。世界ポリオ根絶推進活動の中心的パートナーであるロータリーは、主にアドボカシー政府への働きかけ、ファンディングこれは資金作りですね。それから、ボランティア動員、認識向上に貢献しています。ロータリー会員はこれまで19億米ドル以上を寄付し、122か国25億人以上の子供に予防接種を行うために多大なボランティア時間を捧げてきました。また、アドボカシーを通じて各国政府から80億ドル以上の資金を確保する上で重要な役割を担っていました。私達もポリオ撲滅に対して寄付をしていないかというところを寄付をしています。ロータリー財団は今年から一人五千円づつ寄付をするようにしましたが、そのうちの幾分かがこのポリオ撲滅のために寄付として使われますから、私たちのメンバー一人一人もこの寄付を行っているというところなんです。ポリオの現状、パートナー組織との協力により2018年に報告された野生型ポリオウイルスによる発症数は33件であり、125か国で35万件の発症が確認された1988年と比較すると、99.9%以上の減少となっています。野生型ポリオウイルスの発症が報告されているのは、アフガニスタンとパキスタンの二か国のみです。ポリオ撲滅活動のために築かれたインフラは他の疾病の治療と予防にも利用されており、ほかの公共衛生分野にも長期的なインパクトをもたらしています。課題、ロータリーとパートナー組織はポリオ撲滅の実現に向けて大きく進展してきました。しかし、症例を完全になくすにはさらなる前進と粘り強さが必要とされます。アフガニスタンとパキスタンでは、政情不安、人口移動、地理的要因、手配上の困難といった課題に直面しています。十分なリソース、政府の全面的支援、遠隔地での活動を可能とするテクノロジーがあれば、これらの地域からもポリオを根絶できると私たちは信じています。ポリオ根絶を実現するために、ロータリーはポリオ根絶のために毎年5千ドルを拠出することを目標としています。ビル&メリнда・ゲイツ財団は、ロータリーからポリオ根絶への寄付に対し2倍額を上乗せすることを約束しました。これによりポリオ根絶に毎年合計1億5千万ドルが寄付されることとなります。これらの資金は根絶活動の運営、医療従事者の確保、研究所の設備、啓発用の資料のために使用されます。資金の確保においては、政府や企業、個人がそれぞれに大きな役割を果たします。活動するロータリー、100万人以上のロータリー会員がボランティアや募金を通じてポリオ根絶活動を支援しているほか、ポリオ感染率が高い国々に多くの会員が赴き予防接種活動に参加しています。また、ユニセフなどの団体と協力し、紛争や地理的・経済的要因による隔離された地域で予防接種への認識を高めるための情報資料を作成配布しています。さらに、ボランティアの動員やワクチン輸送の手配面での支援を行っています。この

ような活動をして現在ポリオ根絶に向けてポリオプラスの活動をしていますので、私たち西ロータリーのメンバー一人一人もこのポリオ撲滅に参画してもうすでに寄付金を出してると同時に今後はこのポリオ撲滅に向けた募金の活動や一般大衆に向けた啓発活動をしていきたいというその前段階として皆さん方の頭の更新リニューアルをお願いしたいということをお話をさせていただきました。これでまた、来年度ロータリー賞をゲットするための一つの関門をクリアできましたので、ご協力ありがとうございました。

### ■幹事報告

兼子聡幹事



○国際ロータリー第2530地区：東北鍋フェスのご案内

### ■委員会報告

○シスター委員会

青木大委員長



来週の例会の案内です。移動例会になりまして、米沢中央さんとの合同例会になります。場所は「アサヒビール園」になりますので、移動する時のバスが出ます。新白河駅が5時、そして白河駅が5時15分となっておりますので、皆さん時間に集合していただいて遅れないように乗っていただければと思います。また、急遽参加できるようになったという方は事務局のほうに言っていただければ手配のほうをさせていただきますのでどうぞよろしくお願ひします。それと、ゴルフに行かれる方はゴルフ組は先に各自案内させていただきましたので、そちらのほうから移動のほうお願ひしたいと思ひます。それと9月30日に、深谷ノースロータリーのほうで中目会長が卓話をされます。一緒に行きたい方はまだ受付しておりますので、是非ともご参加をお願ひしたいと思ひます。こちらの取りまとめと、また時間の案内は運天会員のほうからさせていただきますので、参加、興味がある方は運天会員、または事務局のほうに伝えてください。よろしくお願ひいたします。以上です。

### ■本日のプログラム

ホームミーティング報告会

○1班

島田修一会員



皆さん、こんにちは。ホームミーティングの発表の時にしか顔を出さない島田と申します。今回もホームミーティングの発表のほうやらさせていただきます。わたくしども第1班、9月10日火曜日「ゆがふ」にて開催されました。メンバーといたしましては、班長に車田会員、その他、中目会長、宮本会員、松永会員、運天会員、わたくし島田が書記と

して参加しました。湊会員が所用のため残念ながら欠席となりまして、むさ苦しく男性だけで6名の開催となりました。まず第1のテーマ、新入会員の勧誘方法というテーマでございますが、まず中目会長のほうから現在58名の会員を来年の35周年の始まる際にはなんとか60名でスタートしたい。そして、出席率を現在の大体65~66パーセントのところから70~75パーセントに引き上げたいというご希望があると。そういったことを踏まえて、今回のホームミーティングで皆さんの活発な意見をということで最初にお話がありました。まず、松永会員より現在の58名のメンバーが多いのか少ないのか妥当なのかという質問が出まして、いろんな会員の方から県内でも福島市や郡山市など大規模都市になると100名を超えるメンバーが在籍するロータリークラブも存在するが、白河地方の人口などを考慮すると会員数に関しましては頑張っただけで拡大しているほうだろうというご意見でした。また、私ども西ロータリークラブでは経験がないガバナー輩出クラブとなるためには、最低でも60名のメンバーが必要になる。そのために60名のメンバー数は達成したほうがいだろうというご意見でした。また勧誘に関しましてですが、今後はターゲットとしてどんどん女性に目を向けていってはどうだろうというご意見でした。国際的なスタンダードとしては、比率的には女性が30パーセントくらいを占めていますが、我がクラブまた日本全体を見渡しても女性のメンバーの比率がまだまだ低いので、どんどん女性に目を向けていこうというご意見もございました。また、わたくしにとってとても耳の痛い話になりましたが、ただやみくもに勧誘するのではなく、勧誘時に最低でも50パーセントは出席しなくてはならないとか、ある程度のハードルをクリアできる人を勧誘すべきであるという意見も出てまいりました。出席率に関する話も出まして、ロータリークラブメンバーとして一週間のうちの一日なのだから出席しなくてはならないと脳にインプットして、休んだことに罪悪感を持つくらい責任を持ってほしい。木曜日はロータリーの日なのだから、例えば家でその日は自分のご飯が出ないくらい生活のスパンをロータリー優先の生活のリズムを作ってしまうととても楽である。また、新入会員に関しましては一人一人にメンター制度を導入して、例会の前日や当日に電話を掛けたり、出席を促したり、ロータリー活動の指導できるような制度を考えてみたらどうだろうか。そうすると、会員の意識も上がるのではないだろうかというご意見も出ました。二つ目のテーマ、楽しい例会にするにはというテーマですが、移動例会などを増やしてみてもいいだろうというご意見がありました。これに関しましては、メーキャップなどの問題で会場が変更する場合などは他に公表しなくてはならないことなどいろいろあるので頻繁には無理かもしれないが、こういったのも楽しい例会の一つにはなるだろうと。また、ほかに例会とは別に開催時間や場所などに融通を利かせた年代別会みたいなのを作って、それをメーキャップとして認めてもらうのはどうだろうというご意見も出ました。以上、わたくしの発表ですがホームミーティングはここのところ、わたくし

し班長か書記かがずっと続いてまして慣れてきてはいるのですが、途中からアルコールが入るとメモの手がつかない止まってしまうと、すべてのご意見を発表できたかどうかは不安でございますが、これで1班の発表を終わらせていただきます。ありがとうございます。

○5班

横田俊郎会員



皆さん、こんにちは。では、わたくしのほうから第5班のホームミーティングの報告を行います。まずメンバーでございますが、班長が兼子幹事、書記が大竹会員、そして、金田会員、山口会員、根本会員、わたくしでございます。残念ながら、阿部克弘会員が欠席ということになりました。そして、9月13日金曜日に午後6時半から、根本会員のお店であります「アジアンチャオ」で開催をいたしました。本来、今日は書記の大竹会員が報告をするところですが、公務のため今日欠席ということでございまして代わりに発表させていただきます。テーマの一つ目、新入会員の勧誘方法と、二つ目の楽しい例会にするにはというテーマでございますが、話をしている間にいろいろ入り乱れてしまいまして、尚且つちょっとお酒が出てくるタイミングがちょっと早かったものですから、個別のテーマについてのお話というよりは全体的な話ということでまとめさせていただきました。結論といたしましては、例会が楽しければ新しい会員も増えるということがいえるのではないかとございまして。現在の現状をちょっと踏まえると、白河西ロータリークラブは先輩の会員が大変優しく親しみやすい雰囲気であると。また、例会もお昼と夜を交互に開催するなど、会員が参加しやすい仕組みを作っているという意見がございました。そして、特にホームミーティングに関しましては他のクラブよりも内容が充実しておりこれが楽しみであるといった会員も沢山いらっしゃいまして、こういったホームミーティングは是非続けていくことで楽しい例会に繋がるのではないかと意見がございました。それから、新入会員の勧誘方法ということで覚えていることが一つありまして、例えば趣味が同じであったりだとか、あとはお酒が好きであるとか、そういった入り口の段階で入会しやすいきっかけを作って勧誘していくということが大事なのではないかというお話がございました。また、今回のホームミーティングは国際奉仕の在り方ですとか、あと那須甲子の赤面山環境保護という非常にまじめなテーマについてのお話もありましたし、また日本酒は寝かせたほうが美味しくなるとか、あんこにはお餅が一番合うとか、牛を見るとよだれが出てくるとか。会員の方々の趣味ですとか特技、また普段では聞けないようなお話も聞くことができました。こういった例会だけではなくてホームミーティングですと、会員の皆さんと情報交換を行ったり見識を深めることができるといったことも大きな魅力であるというふうに感じました。また、最後に新入会員を増やすということ。それから、例会を楽しくするというのも、会員相互の親睦をさらに深め

ていくことが大切ではないかということでまとめさせていただきました。以上、簡単ではございますが第5班の報告とさせていただきます。ありがとうございます。

○7班

山田顕一郎会員



皆さん、こんにちは。7班のホームミーティングの報告をさせていただきます。ホームミーティング自体は、9月9日月曜日、青木会員のお店の「楓」さんで行いました。出席者が、青木班長、書記のわたくし、小林会員、鈴木孝幸会員、村上会員、池田会員ということで、片倉会員がちょっと都合が悪くて欠席ということだったんですけども。あと、中目会長は都合がよろしかったということで参加していただきました。まず、中目会長のほうからお話をいただいて、県南分区で白河西ロータリークラブというのは断トツで人数が多いということで、規模が適正であるとか、出席率がちょっと65パーセント前後ということで、もうちょっと上げるにはどういったらいいかとかいう話を是非していただきたいというお話をいただきながら始まりました。まずは、新入会員の勧誘方法ということで、各会員から様々な意見をいただきましたけども、まとめますとむやみやたらな勧誘ではなくて、ある程度選別をしながらY E GさんとかJ Cとか、その他の各種団体のネットワークを利用してリサーチして楽しいところを話す。入ったらメリットがあるところをどんどん発信するというので、そのためには日々の活動の魅力も高めなければいけないということで、すべての会員で担当の会員増強の担当だけではなくて、会員全員がそういう気持ちを持って日々の活動をしていきたいと。また女性メンバーが、これはどこのロータリークラブもそうだと思うんですけども、女性の数が少ないということで女性のネットワークも活用できるのではないかとということで、そんなような話をしました。続きまして、楽しい例会にするにはというテーマだったんですが、内容に関していえば当然今のプログラムが悪いとかそういう話ではないんですけども、多くのメンバーが共通で興味のある内容の卓話であったりテーマであったりというのがやはりいいのではないかとということで、そうすると必然的に健康の話とか、あと結構各会社に通じるようないろいろな法律であったりとか、そういうお話がいいんじゃないかということでありました。あと、いわゆる飲み例会以外の夜の例会、2週目とかの例会の際にアルコールを解禁してもいいのではないかとのお話があって、東京ロータリークラブは夜の例会だと会場に入る前にミニバーがあって、そこでちょっとお金を払いながらこう飲んでから入ることができるという例もあって、やっぱりメンバー同士がコミュニケーションを取れる例会というのが楽しいのではないかとというようなお話で7班はまとめさせていただきます。以上でございます。

## ■卓話

○雑誌広報委員会

安部和夫委員長



2週間ぶりのご無沙汰でございます。続きというのはあんまりないですけども。野球愛好会のほうは先発は今ももう遠い過去の思い出でございます控えということで卓話のほうもそういう形になっておりますが、役目を与えられた以上幸せだと思っと思って務めてまいりたいと思います。それでは、今日も「ロータリーの友」について先週からちょっとだぶったものもあるのですが、「ロータリーの友」について歴史等を学んでいきたいと思っと思います。1949年10月に、第2回目のロータリーが発会して再開いたしました。いろんな方のご尽力があっって発行したわけですが、その時に東京クラブと大阪、名古屋、神戸、兵庫、札幌、そして静岡の7クラブで発会いたしました。静岡はちょっとなんで静岡なのかなということで考えたんですが、米山梅吉さんの故郷とか、亡くなったところが沼津でございます、静岡というのはロータリークラブの運動が盛んなとこなのかなということで、7クラブで大体推定で300名くらいで発会いたしました。その後、ロータリーがどんどん増えてきまして、日本全体で大体3000人くらいになったんですね。それでクラブ数も増えてまして東西に分区するという話が出まして、日本に与えられたあれは60地区ということなんですがそれを東西に分けるといっことで、お互いに交流する場であるとか情報を共有したいといっことで、お互いに統一の雑誌を作りましようといっ話になってこの「ロータリーの友」が発行したわけでございます。その時に東西でいろいろご意見があっって、どの程度のボリュームのものを作るといっことで東西で分かれまして、西のほうは取りあえず発行することを目標にして取りあえず安くても早く出しましようといっ形なんですが、東のほうはきちんとしたロータリーらしい雑誌を作りたいといっことで東の意見を取り入れまして、最初からきちんとした雑誌を作るということになりました。それで、大体その当時で100円くらいの1冊予算といっことで作るということになりました。私もその当時、幼少といっか物心ついた頃なんですが、大体ラーメンが50円位の時代でしたので、この100円といっくと1,000円以上くらいの価格かなとは思っと思います。それで会員からご負担いただくのは50円で、あとは広告を取っって出すといっことで決まりました。それから、縦にするか横にするかといっことで、今は二つになっていっですけども、会員全員からアンケートを取っって、圧倒的に7割くらいの方が横にするといっことで、その当時は全部日本の公式文章等も縦でしたので画期的な話ではないかと思っっておりました。それで横組みでスタートして、まもなく俳句とか短歌とか川柳とか、なんかどうしても横組みじゃ具合が悪いといっことで、その部分だけ縦にして出したといっことでございっます。それから、1972年に今の形の縦と横、大体90ページあつたら60ページは横で30ページが縦といっことで、その縦の

中に国際的なR Iからの情報だとかいっ形で、横のほうは地域に関することを提示しておっります。それから、1977年にR Iの定款が変更になりまして、改定によりましてロータリーの公認の雑誌がその当時は「ザ・ロータリアン」だけだったんですが、この時にこの地域の限定雑誌を公認雑誌に認定しようといっことで正式に決まりました。その時に、ロータリーからいろいろこっ制約があっって、R Iの指定記事は必ず載せてくださいといっことでございっます。それから、表紙は7月の表紙は皆さんご覧になってると思っんですが、R Iの会長の写真のあれが掲載されておっります。これは必ず載せなきゃいけないうことになっておっりますので、そういう形でございっます。それから1997年に、「ロータリーの友」が一番発行された時期なんですね。これが14万冊発行されました。ちなみに、現在は9万5千くらいですね。大体1割2割は乗っけて会員数以上に作っっておきますので、大体12万くらいのピーク時はいっったと。現在は9万弱といっことで、四分の一くらい会員数は減っっているのかなと思っと思います。ちなみに、この「ロータリーの友」と一緒の地域限定雑誌といっのは32ありっます。その中で32あっってそれが全体で80万部ありっます。それで「ザ・ロータリアン」が50万部あっって、どちらかは必ず購読しないといけないう義務がありっますね。だから、我々は「ロータリーの友」は必ずお金を出して購入して、発行するのは必ず1日が発行になっておっりますので、第1週にご披露してるといっ形でございっます。それから、2014年1月から電子版のほうがスタートいたしまして、ネット等で閲覧することもできるようになりました。以上がざっとした「ロータリーの友」の歴史なんですが、今、ロータリー限定の地域雑誌32種類あるとお伝えしましたけども、このロータリーの地域雑誌だけで80万部、それから「ザ・ロータリアン」といっ公認の雑誌が50万部ありっます。これは大体、北米地域でアメリカとかカナダで大体50万部ありっますね。それで残りが80万部で世界の地域で発行されておっります。その中で一番多いのはインドの地区ですね。それが大体12万部発行されておっります。その次に多いのは日本といっことで大体9万5千部ですね。それから、意外と多いのが韓国で日本の人口規模からいっくとかなり多いと思っんですが6万部発行されておっります。それから、中国地域ですね。これが、台湾とか香港とかマカオとかモンゴルも入ってありますが、これは1万3千5百部発行されておっります。ちなみに、中国、中華人民共和国、今度建国70周年迎えて来月盛大に軍事パレードやるそうですが、そこが多分この中には入ってなくて、「ザ・ロータリアン」を購読してるんじゃないかと推測しておっります。中国でも北京と上海に2クラブあるみたいですね。ちなみに、共産国で今の旧共産国でかなりロータリーもできてきてるんですが、モスクワにもあるそうございっます。急ソ連から独立したといっ各ロータリーのクラブも全部ほとんどができておっります。それで今、サウジアラビアとイランとなんかいつ勃発するかわからない

ような状態になっておりますが、イスラム圏のほうにもロータリーはあります。アラビア語で発行されておりますので、これは少ないですね、2千4百部発行されております。あと、トルコでも発行されておりますので、大体これが4千3百部くらいですかね。ちなみに、一番少ないのはベラルーシとウクライナ、これ共同のものが発行しているんですがこれが千部ということで、この我々の2530地区は大体2千3百くらいいるので2千6百くらい発行してるんじゃないかと思えます。そういう意味でかなり小さい、大小様々だということで発行されております。それから、日本みたいに毎月発行しているのはどちらかというとな少ないですね。これは必ず6回以上は発行しなさいということにはなっているんですが、6回隔月で発行している国もありますし、日本みたく真面目に12か月発行しているところもあるということで、日本は真面目にやっているとことだと思えます。ちなみに今、ロータリーは201か国、大体120万というように世界を網羅した組織でございます。それをこのロータリーの機関雑誌でありますロータリーグローバルメディアネットワークということで、ロータリアンと「ロータリーの友」に共通した記事が載っておりますので、これは世界のロータリアンが同じ情報を共有しているということで、ロータリーのネットワークが世界を網羅しているいろんな意味で役に立って、皆さんのほうでも是非この「ロータリーの友」をそういう認識を持ちまして購読していただいて、自分のお供にさせていただいて役に立っていただければ幸いなのかなと思えます。私の言いたいことは大体これで終わりなのですが、よろしいでしょうか。2週に渡って私ですね、何があるかというのを忘れることが多くなっちゃって困ってるところあるんですが、一晩寝るとかなり忘れてるんで2週間前だったらもうちょっといろんな話ができたと思うんですけど。まあ、言い訳をしながら卓話を終わりたいと思えます。どうもご清聴ありがとうございました。

#### ○中目公英会長

まだ、1時半に7分前なので少し付け足しでお話させていただきます。点鐘いたします。まずPRです。もう既に、皆さん方のポスティングレターのところに先週から入っております。明日「新自信イベントホール」にて、新一万円札の顔になった日本資本主義の父、渋沢栄一と白河のご縁、渋沢栄一について、というふうな講演会があります。南湖神社の関係者ですというただになりますから、もしよかったら参加をさせていただきます。お願いいたします。それから、本当は明日から彼岸の入りなのでお彼岸の話でもしようと思ったのですが、山口パスト会長がお萩とぼた餅の話をして、これはもう二番煎じだなと思ったものから話をするのをやめたのですが、多少2~3分、時間があるようなので少しだけ。皆さん方、お盆とお彼岸の違いは何かわかるでしょうか。共に今は仏教行事になってご先祖さんを供養してお墓参りをするというふ

うな、そういう意味でいうとお盆もお彼岸も春の彼岸であっても秋の彼岸であっても大した変わらないように思われるかもしれませんが、お盆とお彼岸はどういうふうにご違うのでしょうか。春の春分の日、生き物の芽吹きに感謝をしましょうというのが国民の祝日法のお祝いの意味です。秋の秋分の日、ご先祖さんを敬いましょうという意味合いで秋の秋分の日が国民の休日になっていますがお盆は休日になっていません。盆休みはありますが。お盆はご先祖さんが自宅に来るんですけども、彼岸にはご先祖さんは自宅には来ません。僕がお寺の話をするのはおかしな話っちゃおかしな話ですが、迎え火と送り火をして西方浄土、極楽に行ってるご先祖さんを自宅にお迎えをして、ご先祖さんが穏やかに向こうの世界に行っても暮らせるように追善で供養するのはお盆ですが、お彼岸の時にはご先祖さんは帰ってきません。だったら、なんでお彼岸の時に参りするんですか。それがまさに違うわけですね。それはどうしてかということ、通常こういうふうに言われています。お彼岸というのは昼の長さや夜の長さが全く同じで、太陽が真東から登って真西に落ちるようになります。真西に落ちるイコール極楽、西方浄土。全くの西の彼方にある極楽の西方浄土にまっすぐお日様が落ちると、今生きてる子孫の願いがその日の落ちるのと同時にご先祖さんの所まで願いをまっすぐ届けてくれるというふうな思想が後世出てきて、春の彼岸と秋の彼岸の時には向こうに行っただまになっているご先祖様向こうで迷わないでちゃんと穏やかに向こうの世界で暮らしてくださいという願いをストレートに向こうのご先祖さんに伝えるために春の彼岸と秋の彼岸はご先祖さんを供養して、西に行くということの意味合いが自宅の仏壇の位牌ばかりじゃなくてお墓まで行ってお参りをする。お墓まで行くというのは極楽に行くみたいな意味合い。真西に太陽が落ちると西方浄土に行くということと重ね合わせてお墓参りをして、ご先祖さんに頭を下げてくるというふうなのが彼岸ということになっています。まさに、それがお盆と彼岸の違いです。ただ、お盆も彼岸もインドの仏教には行事として残っていません。これは日本の古来の先祖崇拝が仏教的に取り入れられたものというふうに通称は言われています。彼岸といったのは先ほど言ったように、西方浄土のつまり私たちがいる世界此岸と向こうの彼岸の意味合いじゃなくて、漢字はお日様の日、日数の日、日時の日と願い。日時の日に願うと書いて日願。つまり、太陽のほうに願いをするということがもともとの、つまり仏教が伝来する前の昼の時間と夜の時間がまったく同じようなその日に、太陽に対して願い事をするということが太陽の力が作物を育てるのであるとか日々の生活の時に日の力をまっすぐいただくかというものが仏教以前の考え方だというふうに通称は言われますが、今日ではお寺さんの考え方になっていると。時間オーバーになります。これで終了します。今日も例会ありがとうございました。閉会します。